

Vol.
78
2023
AUTUMN

 山梨県の広報誌

ふれあい FUREAI



【巻頭】

オールやまなし

全県民で乗り越える人口減少危機

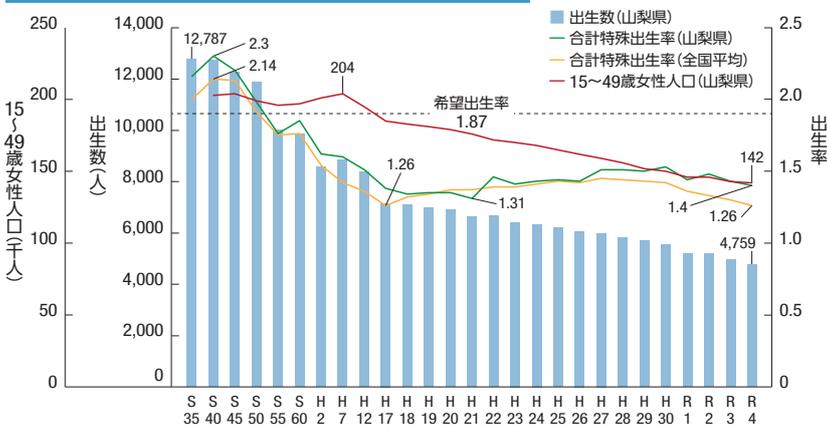


YAMANASHI



県内の市町村長や企業・団体代表者とともに人口減少危機突破共同宣言を行う長崎知事(手前中央)=7月27日、甲府市内で

出生数、合計特殊出生率、15～49歳女性人口の推移



出典:厚生労働省「人口動態統計」、総務省「人口推計」

本県の出生数は長年減少傾向にあります。合計特殊出生率は過去最低だった1・31(平成21年)から改善していますが、女性の数が減っているため、出生数を押し上げるところまで至っていません。県外との転出入の動向を見ると、就職期の若者の転出が多く、出身地に戻り就職する「Uターン」、首都圏などから地方を目指す就職する「Iターン」の動きの弱さが特に際立っていることが分かります。これは、東京圏(東京、神奈川、埼玉および千葉)に隣接する本県特有の現象といえます。若者世代の減少に伴い15～49歳の女性人口も減っており、出生数の減少につ

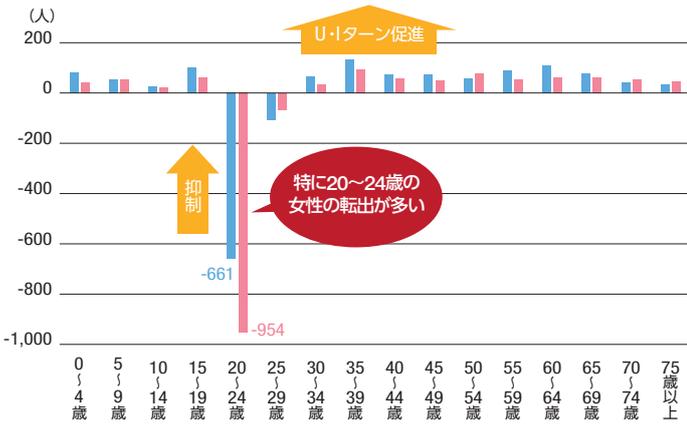
山梨特有の人口動態

こうした状況を受けて県は、人口減少に歯止めをかけ回復局面に転じさせるため、抜本的かつ集中的に取り組んでいくこととしました。この危機的な状況は、行政だけで克服できるものではありません。本県に関わる全ての皆さんと問題を共有し、知恵を出し合い、県民一丸となって乗り越えるべく取り組みを進めています。

こうした状況を受けて県は、人口減少に歯止めをかけ回復局面に転じさせるため、抜本的かつ集中的に取り組んでいくこととしました。この危機的な状況は、行政だけで克服できるものではありません。本県に関わる全ての皆さんと問題を共有し、知恵を出し合い、県民一丸となって乗り越えるべく取り組みを進めています。

オールやまなし
全県民で乗り越える人口減少危機

年齢階級別転入・転出差引数(山梨県、令和4年、日本人移動者)



出典:総務省「住民基本台帳人口移動報告2022年」

ながつています。出生数の減少は、次の世代の縮小をもたらします。そして、それが繰り返されることによって人口減少が加速する「負のスパイラル」が生じる懸念があります。

本県の県民希望出生率（若者の結婚や出産の希望がなかったときの出生率）は1・87と、実際の出生率よりも高い水準となっています。

このため、若者世代の転出を抑制し、子育て世代のU・イターンを促進するとともに、子どもを生み育てたという県民の希望をかなえるような施策が重要と考えられます。

人口減少が引き起こす問題は、消費市場の規模縮小や深刻な人手不足を生み出すなど、多方面にわたります。経済・産業の縮小により、地域社会のさまざまな基盤の維持が困難となること懸念されます。空き家の増加もその一つでしょう。本県の空き家率は全国で最も高い21・3%（平成30年「住宅・土地統計調査」）となっており、世帯単位で人口が減っているともいえます。

自分自身が住みたいところに住むという希望がかなえられないとき、人々が幸せを感じる度合いは低くなってしまう。自然豊かでゆとりのある場所での生活を望んだとしても、そういった地域の人口が減っていくと、地域コミュニティが衰退するとともに、行政サービスや民間投資の低下を招き、住み続けることが困難となるかもしれない。現時点ではそれほど問題が顕在化していない地域でも、子どもや孫が大人になる頃には深刻な事態になっている可能性があります。

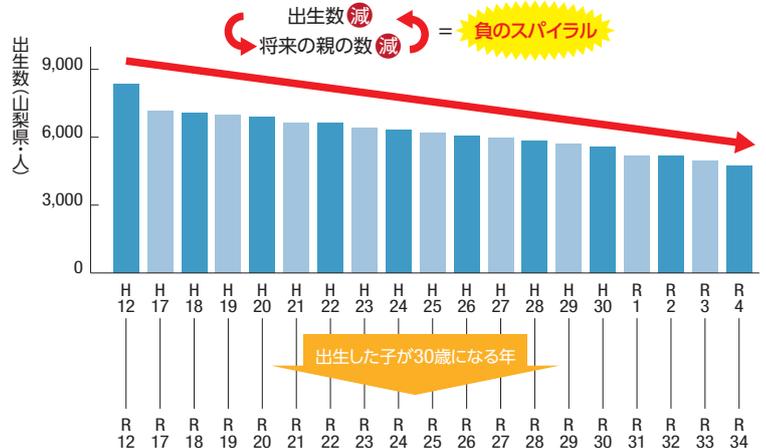
人口問題は、未来の人々も末永くここ山梨で豊かに暮らし続けられるように、今生きる私たちが立ち向かわなければならぬ課題なのです。

子どもや孫、その先の世代も豊かに暮らせるように

出生数の減少が始まってからすでに30年ほど経過しているため、出生率が多少回復しても、今後数十年は人口が減り続けます。将来、子を持つことができる大人の数が確実に減っていくからです。

さらに、出生率の回復が遅れば遅れるほど、人口減少はますます加速し歯止めのかかない状況になってしまう可能性があります。

そこで県は、6月9日に「人口減少は待ったなし 今こそ全県民の英知を結集」



出典:厚生労働省「人口動態統計」

知事×内閣官房参与 対談番組配信中!



長崎知事と、内閣官房参与として国の社会保障・人口問題を担当する山崎史郎さんが、人口減少問題の今を語ります。

山梨県広報番組「やまなしのチカラ」



少危機突破宣言」で人口減少の危機を克服するための抜本的・集中的な取り組みを開始することとし、7月27日には、市町村長や企業・団体代表者と全県を挙げて人口減少危機を突破するための共同宣言を行うなど、スピード感を持って取り組みを始めています。

また、8月3日には、県民の皆さんそれぞれのライフステージに寄り添い切れ目のない支援を実現するため、県の関係施策を整理するとともに、新たな課題に向けた取り組みを「人口減少危機対策パッケージ（暫定プラン）」として取りまとめ公表しました。この暫定プランをたたき台とし、県民の皆さんからご意見をいただくことで、本県の実状に合った実効性のあるより良い対策としていきます。ぜひ忌憚ないご意見をお寄せください。

策パッケージ(暫定プラン)

いて、切れ目のない支援を実現～

の方向性

暫定プランから県民共創プランへ

県民の皆さんと共により良いプランを創り上げていくため、暫定プランとしています。たくさんのご意見お待ちしております。

活基盤の整備

- 全ての業種において安定した雇用対策
・産業の安定した発展への支援
- 生産性向上に伴う就労環境の改善
・社会人・求職者に対するリスキリングの機会提供

子育ての両立

- 性差・社会的役割に対するアンコンシャスバイアスの解消
- 希望する時期に希望する保育所に入所できる「新たな姿の待機児童ゼロ」の推進

との連携

- 当事者目線による政策立案の仕組みを創設
・県民意見をくみ上げる仕組みの検討
・県庁若手職員による専門部会の発足



若者の自己実現への支援

- 社会的自立への支援
・将来の具体的なキャリアビジョンを描くためのライフプラン形成支援
・希望に沿った就労支援
- 将来に希望を持てる環境づくり
・キャリア教育の充実等による自己肯定感の向上
・社会に触れる機会の創出
- 高度な教育を受ける機会の確保
・技術系人材育成機関設置に向けた検討

自分らしく働ける、魅力ある職場環境の整備

- ワークライフバランス推進の環境づくり
- 子育てを経験した男女の希望に応じたキャリア形成の実現
- スタートアップ企業への成長段階における伴走支援
- 働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上(スリーアップの促進)
・学びを賃金アップに繋げる仕組みづくり
- 非正規雇用の正規雇用化に向けた取り組み

結婚の希望を叶える支援の充実

- 未婚化・晩婚化に対する取り組み
・結婚や妊娠・出産などに関するライフデザインの若年層への啓発(民間人材の活用)
・出会いの機会創出(拡充)



人口減少問題は特効薬がないといわれています。そこで県は、さまざまな施策を組み合わせるべく「人口減少危機対策パッケージ(暫定プラン)」を取りまとめました。

「安心できる生活基盤の整備」「キャリアと子育ての両立」「関係者との連携」の3つの柱を取り組みの方向性として、県民の皆さんそれぞれのライフステージに寄り添った切れ目のない支援を実施していきます。

人口減少危機対策 特設ページはこちら





山梨県 人口減少危機対策

～それぞれのライフステージにお

多様な学びの機会の提供

- 少人数教育の更なる推進
- いじめ・不登校対策
- ICT活用環境の整備
- PBL(課題解決型学習)の実施
- 学童保育(放課後児童クラブ)の充実
- 子どもの貧困対策・ひとり親家庭への支援
 - ・生活困窮世帯への進学支援
 - ・家庭環境の違いにより生じる体験格差の解消
- ヤングケアラーへの支援

子育て負担軽減への多面的支援

- 子育てに関する経済的負担の軽減
 - ・子どもの医療費無料化の促進
 - ・給食費無償化を実施する市町村への支援検討
- 教育・保育サービスの充実と質の向上
 - ・保育料無償化の拡大
 - ・保育士の加配、働き方改革
- 子育てで離職した女性の再就職支援
 - ・保育所等への入所認定の柔軟な運用
 - ・県の託児所機能の拡充に向けた検討
- 出産後の精神的・身体的負担を軽減するためのレスパイトケアの推進
- 国際保育の実現に向けた取り組み

安心して子どもを 妊娠・出産できる環境の整備

- 母子への切れ目のない支援
 - ・妊娠から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援
 - ・産前産後ケアの推進
 - ・一時預かり等の利用促進
- 産前産後休暇・育児休業制度改革の国への働きかけ
 - ・フリーランスを含む自営業者などへの制度適用(育休取得・給付金受給)
- 妊娠・出産に関する経済的負担の軽減
 - ・妊婦健診・出産・不妊治療費(先進医療)への助成
- 産科・小児科等医療体制の強化
 - ・周産期医療体制・小児救急医療体制の充実
 - ・医療従事者の育成・働き方改革
 - ・先天性代謝異常検査体制の拡充

取り組み



高校・大学

若者の自己実現への支援

若い世代が将来に希望を持つためには、社会や地域に触れ未来の自分の姿を想像することが大切です。若い世代が生きがいを見つけ、自分らしく生きる道を進めるよう、県では中高生におけるインターンシップの促進やライフプラン形成などに取り組んでいきます。



もっと社会を知りたい!

● インターンシップの推進

将来の進路選択において大切な時期となる高校生・特別支援学校生を対象に、インターンシップ(就業体験)の機会創出に取り組んでいます。実社会でのさまざまな体験を通じて進学や働くことへの意欲を生み出すとともに、地元の企業を知ることで「**山梨で働く**」を実感し**地域社会の担い手としての自覚を持ってもらえる**ようプロジェクトを推進していきます。



自分らしく生きたい!

● キャリア・パスポートの活用(小中高)

キャリア・パスポートとは、児童・生徒が自分の学習状況や将来の目標などをシートに記入したものです。その時々で児童・生徒が自らを振り返ることで、自分自身を知り、**主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる**ことができます。県ではキャリア・パスポートを小学校から高校まで引き継ぎ、継続して取り組むなど、キャリア教育を充実させることで、若い世代が将来のビジョンを描ける環境づくりを進めていきます。



就職

自分らしく働ける、魅力ある職場環境の整備

県民の皆さんが安心して暮らせる地域社会を実現するためには、生活の基盤となる「仕事」がとても大切です。子育て中の方や子どもを持ちたいと希望する方が、山梨で安定して働けるよう、産業の高付加価値化や業務の効率化を促進していきます。



安定した企業で働きたい!

● 将来の展望を抱ける、産業の高付加価値化

高い技術力を持つ本県の機械電子産業の企業に、今後、安定した成長が見込まれる医療機器関連分野や水素・燃料電池関連分野への進出を促す取り組みを行っています。

成長分野への進出は今ある企業の収益力を高め、企業の安定した成長につながります。県内は活力のある企業であふれ、県民の皆さんは**多くの選択肢の中から自分に合った仕事に就き、安定した収入を得られるとともに、安心して家庭を築き、子を産み育てることができるようになる**でしょう。



人手不足で困っている

● 宿泊施設のDX支援

観光産業が盛んな本県には多くの宿泊施設があります。**従業員が安心して働き、かつ宿泊業を若者にとってより魅力のある職業へと進化させる**には、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した業務効率化や生産性向上を進めることが大切です。

県ではDXセミナーや専門家派遣と合わせて、DXの導入と従業員の処遇改善(賃上げ)に積極的に取り組む宿泊施設に対しシステム導入費を補助するなど、DX導入を強力に支援していきます。



結婚

結婚の希望を叶える支援の充実

「結婚したい」「子どもを持ちたい」こうした希望を実現するには、若い時から妊娠出産について知り、仕事や結婚、子育てなど将来を見据えた人生設計を立てておくことが大切です。県では若い方向けのライフデザインセミナーや婚活支援に取り組んでいきます。



結婚して子どもを持ちたい！

● ライフデザインセミナーの開催

「^{にんようりつ}妊孕率」という言葉をご存知ですか？年齢に応じた自然に妊娠する確率を示す言葉で、年を重ねるごとに低下します。不妊治療をしている方からは、「妊娠しやすい年齢があることを知らず治療で苦労している」といった意見があがっています。

県では、仕事、結婚、子育てなどの人生のイベントを踏まえ、**将来の妊娠を考えながら生活や健康に向き合ってもらえる**よう、今後大学と連携したセミナーを開催していく予定です。

● 出会いから結婚までを手厚くサポート

国の調査では、「いずれ結婚しよう」と考える未婚者の割合は80%台ですが、独身でいる理由として多くの若者が「適当な相手とめぐり合わない」と回答しています。県では、市町村や民間の結婚相談所・企業などと連携した取り組みを行うとともに、異性とのコミュニケーション講座の開催や、**結婚予定のカップル等の経済的負担を軽減する**取り組みなどを行い、社会全体で結婚を応援していきます。



妊娠
出産期

安心して子を妊娠・出産できる環境の整備

子どもが欲しい、けれど不妊治療はお金がかかる。相談できる人が周りにいない…そんな不安を解消するため、県では相談窓口や助成制度など、充実のサポートをご用意しています。ぜひ活用してください。



経済的な支援がほしい！

● 先進医療による不妊治療の独自支援

先進医療による不妊治療は妊娠率の向上につながるといわれています。その一方で、先進医療は保険適用外の全額自己負担となるため、経済的な制約から受けられない方がいます。

県では、この先進医療に対する助成を行うことで、**不妊治療を行う夫婦の負担軽減を図り、子どもを持ちたいという希望をかなえます。**



● 出産・子育て応援給付金

妊娠・出産時の経済的負担軽減のため、市町村による伴走型相談支援を受けた場合に、出産・子育て応援給付金を支給します。

※ 詳細は各市町村にお問い合わせください。



悩みを聞いてほしい！

● 宿泊型産後ケア

産前産後ケアセンター（笛吹市）では、産後間もない母親と乳児が、宿泊しながら母体の心身のケアや育児相談、沐浴・授乳などの育児サポートを受けたり、不安や悩みを抱える母親同士が交流したりすることができます。県では市町村と共に利用料金の助成などを行っています。



● 伴走型相談支援

妊娠を届け出た時から子どもが生まれ乳児家庭への全戸訪問が行われるまでの間に、市町村の保健師などが面談（原則3回）を行い、出産や育児の見通しが立てられるようサポートします。その後もいつでも気軽に相談を受け付け、併せて妊婦や子育てに関するさまざまな情報をお伝えします。

※ 詳細は各市町村にお問い合わせください。

● SNS（LINEなど）でお悩み相談

不妊治療をすればすぐ妊娠できるとは限りません。いつまで頑張ればいいのか、終わりが見えない不安から心に不調を抱えるケースも少なくありません。県では、こうした不妊や不育、妊娠・出産、流産などで悩みを抱える方が気軽に相談できるSNSの窓口を開設します。また、登録した方には助成制度やイベントのお知らせなどの情報提供を行っていきます。



乳幼児期

子育て負担軽減への多面的支援

保育料や医療費など、子育てにはさまざまなお金がかかります。加えて、仕事復帰や住居の問題などの新たな課題に直面するでしょう。こうした負担や不安を減らし、子育て世帯が安心して生活できる環境を整えていきます。



経済的な支援がほしい!

● 医療費・保育料の無料化

子どもを安心して産み育てることができるよう、県では、子育て世帯の経済的負担軽減に市町村と一体となって取り組んでいます。

現在、本県はほぼ全ての市町村で18歳までの医療費が無料です。また、窓口での自己負担もありません。加えて、第2子以降は3歳になるまで保育料が無料になるなど「子育てしやすい日本一」の実現に向けて、独自の取り組みを行っています。

これからも**子育て世帯の皆さんが安心して医療や保育サービスを受けられる**よう、市町村と一緒に環境づくりを進めていきます。



保育園に子どもを預けたい!

● 教育・保育サービスの充実

県では、国の基準よりも多くの保育士を配置する保育園や幼稚園などを支援することで、保育の質を向上させ、保護者が安心して子どもを保育施設に預けられる環境づくりに取り組んでいます。



● 新たな姿の待機児童ゼロ

国の調査では、本県の待機児童数は「ゼロ」となっていますが「保護者が職場復帰を希望する時期に」「希望する園に」入ることができない潜在的な待機児童が存在しています。保育士の体制が整っていないことが一つの要因です。

そこで県では、昨年、保育士の確保を支援する「やまなし保育士・保育所支援センター」を設置しました。センターでは、保育士の資格を持ちながら、保育士の仕事に就いていない人を対象に、無料で就職の相談や支援に応じています。

育児休業を終えた方が円滑に職場復帰できるよう、**時期を問わず希望する保育所へ入所できる「新たな姿の待機児童ゼロ」**に向けた環境整備に取り組んでいます。

外国人も安心して保育園に子どもを預けたい!

● 国際保育の実現

令和4年度の県内に住む在留外国人は1万9000人を超え、外国にルーツを持つ子どもがいる保育所は半数を超えています。保育所では、外国の習慣や宗教への配慮といった子どもへの対応の難しさや、日本語に不慣れな保護者とうまくコミュニケーションが取れず、緊急時の連絡に苦慮するなどの問題が生じています。

そこで県では、保育所への通訳の派遣や、保育士の多文化共生の理解に向けた研修を実施し、言語・文化に多様な背景を持つ子どもが、施設や保護者の相互理解のもとで安心して過ごせる国際保育の環境を整えていきます。

子育てしやすい住宅に住みたい!

● 良質で安価な住環境の整備

県が行った子育て世帯向けのアンケートでは、実際の子どもの数が希望どおりになっていないと回答した人のうち、8.9%の人が「住宅事情が悪い」ことを理由として挙げていました。子どもを育てるために必要な住環境が整っていないことが、子どもの産み控えの要因になっています。

県では、古くなった公共施設を民間企業と連携してきれいに改修し、子育て世帯等が入居できるよう整備するなど、**子を産み育てやすい良質で安価な住環境づくりを進めています。**



パパももっと子育てしたい!

● 男性職員の育休取得100%を目指す

男性の育児に関わる時間が増えるほど、夫婦の信頼関係や次の子を持ちたいという意向が高まるとわれています。**「共働き・子育て」を定着させ、男性の育休取得は当たり前の社会を実現**するため、まずは県が率先して取り組みを始めます。全職員を対象に原則育児休業を取得することとし、また、育休や有給休暇、テレワークなどを組み合わせるなどしながら、最低3カ月間在宅で育児に関わるという目標を設定しています。今後はこれをモデルケースとして、県内の自治体や企業などへと波及させていきます。

小～高校

多様な学びの機会の提供

より良い教育環境を整えることは、地域に対する意識や意欲を高め、人口減少の抑制にもつながります。県では、教育の充実を通じて、誰一人取り残されることなく夢や希望の実現に進んでいける社会を目指します。



先生にしっかり子どもを見てほしい!

● 25人学級の推進

きめ細かな質の高い教育を実現するため、県では国の基準を上回る25人の学級編制を、小学1年生から3年生に導入しています。少人数教育により、**子どもが持つ一人一人の個性を伸ばし可能性を引き出します**。山梨で育った子どもが山梨の発展に貢献したり、世界中で活躍したりする、そんな人材を育てる環境づくりを進めていきます。



● イノベーション人材の育成

新たな価値を生む変革を起こすことができる、将来の山梨を担うイノベーション人材の育成を目指し、県では中高生を対象に、デジタルスキルの効果的な活用方法を学び、周りと共に取り組む姿勢を身につけるための課題解決型学習(PBL)を実施します。

PBLとは子どもが課題を見つけて解決する中で、解決能力や実践能力が育まれる手法のことです。県では中高生でグループを作り地域課題を設定した上で、デジタルスキルを活用した解決方法を考案していくプログラムを行っています。地域を知り学ぶことで、**子どもは地域に誇りを持ち、将来山梨で活躍しようという気持ちが芽生える**ことでしょう。

子どもの学びを支援してほしい!

● 生活困窮世帯への進学支援

本県の生活保護世帯の大学等進学率は33.3%と全国21位です。これは県全体の大学等進学率73.5%(2021年度学校基本調査)の半数に満たない数値で、家庭の経済環境で大学進学を諦める子どもがいることが明らかになりました。

いかなる家庭環境であっても、子どもが将来の夢や進学を諦めることがあってはなりません。

県では、生活保護世帯の子どもが民間の学習塾や予備校に通えるよう支援していきます。



● パソコン・タブレット端末の購入支援

現在、社会のあらゆる場所でICT(情報通信技術)の活用が日常的になっています。パソコンやタブレット端末は**これからの時代を生きる子どもの可能性を広げるために必要不可欠なツール**です。県では、県立学校における生徒一人一台端末(パソコン・タブレット)の環境づくりを進めるため、経済的に余裕のない世帯を対象に端末購入費を助成しています。



ご意見募集

人口減少危機対策パッケージ(暫定プラン)に対する県民の皆さまのご意見を受け付けています。二次元コードからアクセスして、ご意見をお寄せください。





第50回信玄公祭り

女性初の信玄公にご期待ください！

山梨県下最大の祭りである「信玄公祭り」。

第50回の節目を迎える今年は、

10月27日(金)～29日(日)の

3日間にわたり開催します。

今回「甲州軍団出陣」で信玄公役を務め、

世界一の武者行列を率いる

モデルで俳優の富永愛さんに、

女性初の信玄公役に

懸ける意気込みや、

山梨に対する思いなどを伺いました。



よく訪れる山梨には
親しみを感じています

私は神奈川県相模原市出身なので、小さい頃からよく山梨には遊びに行っていました。キャンプが好きな家族でしたから、特に夏休みに行く機会が多かったですね。富士五湖方面に出かけた際に、西湖で泳いだ時の爽快感や富士山の美しさは今でもよく覚えています。

大人になってからも山梨とのご縁は続き、県のイメージアップキャンペーン「ビタミンやまなし」では1日課長を務めさせていただきました。山梨は温泉も多く、おいしいフルーツやお野菜も豊富にあるなど、多彩な魅力にあふれていますし、何といても自然が豊かで本当に気持ちいい環境を有した場所だと思っています。

信玄公に対して、
実は親近感も

今回、私を信玄公役に選んでいただき、とても光栄に思っています。私は歴史が好きなので、俳優として歴史上の人物を演じさせていただくことには特別な思いがあります。信玄公に対しては、戦略に長けていたことはもとより、政治的にも手腕を発揮した名だたる武将であり、領民



にも慕われた偉大な英雄というイメージがあります。実は我が家の家紋が武田家の家紋とすごく似ているので、私は以前から信玄公にとっても親近感を持っていました。信玄公役を賜り、ご縁のようなものを感じています。

富永愛らしくカッコいい
信玄公を演じたい。

第50回という節目を迎えた山梨最大の祭典「信玄公祭り」で、女性として初めて信玄公を演じさせていただくことを、たいへん有意義なことと感じています。どのように演じる

【武田信玄公役】

富永 愛さん

Ai Tominaga

17歳でNYコレクションにてデビューし、一躍話題となる。以後、世界の第一線でトップモデルとして活躍。モデルの他、テレビ、ラジオ、イベントのパーソナリティ、女優などさまざまな分野にも精力的に挑戦。日本人として唯一無二のキャリアを持つスーパーモデルとして、チャリティ・社会貢献活動や日本の伝統文化を国内外に伝える活動など、その活躍の場をクリエイティブに広げている。公益財団法人ジョイセフ アンバサダー、エシカルライフスタイルSDGs アンバサダー(消費者庁)、ITOCHU SDGs STUDIO エバンジェリスト

か、具体的なことはこれから時間をかけて考えていきますが、富永愛らしくカッコよく登場できたらいいなと思っています。信玄公といえやはり戦国最強といわれた「武田騎馬隊」が有名ですよ。私は時代劇の演技に生かすために、小淵沢の乗馬クラブに乗馬のレッスンに行っていましたので、得意な乗馬で「甲州軍団出陣」の武者行列を演じられることが本当に楽しみです。馬はとても人間に近い感情を持つ生き物だと私は思っていますので、馬と上手に息を合わせて騎馬隊を率いていきたいですね。

女性初の信玄公役として、
皆さんにお目にかかる
日を楽しみにしています。

山梨県と私の地元相模原市は、自然環境も似ていて境目が感じられないほど近いですし、よく遊びに行っていた思い出があります。ですから山梨は私にとってある意味、地元みたいな場所だと思っています。そんな親しみある山梨の「信玄公祭り」で、女性初の信玄公役として皆さんにお目にかかれることを楽しみにしています。

「富永愛で良かった」と喜んでいただけるように、全力で信玄公役を務めます！



第50回 信玄公の魂よみがえる3日間
信玄公祭り開催

10月27日(金)～29日(日)

◆ 10月28日(土) 甲州軍団出陣!

出陣スケジュール

● 戦勝祈願式 午後1時20分～1時40分

【武田神社】

● 軍団集結 午後3時～3時55分

【舞鶴城公園】

● 出陣式 午後4時～4時30分

【舞鶴城公園】

● 軍団出陣 午後4時30分～6時40分

● 帰陣式 6時40分～7時

【舞鶴城公園】



← 甲州軍団出陣の進路 → 観覧エリア
 ★ 総合案内所 ★ 大型画面 (出陣式の様子を放映します)

祭りを彩る主なイベント

◆ 10月27日(金)

前夜祭イベント【舞鶴城公園】

神明の花火 in 甲府城

◆ 10月28日(土)

祝賀パレード【ハロウィン仮装パレード】

【平和通り】

記念すべき第50回の信玄公祭りを祝した
多様な参加者による盛大なパレード

甲州軍団出陣

勇壮で華麗な世界一の武者行列

スーパードラマ 風林火山

パフォーミング・アーツ コンテスト

【舞鶴城公園】

武田節や風林火山が題材のパフォーミングを競う大会

「風・林・火・山」総踊り【城東通り】

風林火山演舞団1000人による圧巻の総踊り

◆ 10月29日(日)

子ども武者行列【舞鶴城公園周辺】

かわいい子ども武者となぎなた隊の勇壮な行列

◆ 同時開催イベント

賑わい城下町【舞鶴城公園&遊亀通り】

信玄グルメ横丁【パラカ駐車場】

こうふ女性達で創るマルシェ

【アシストエンジニアリングよつちやばれ広場】

信玄公を想う茶会

【甲府駅北口クリスタルアース前】

他にも信玄公祭りを盛り上げる
イベントを開催！詳細はこちらから



◆ 信玄公を支えた軍師 山本勘助役 白須慶子さんからのメッセージ

山本勘助といえ、武田軍が誇る
隻眼の軍師、そして諸国を巡り学ん
だ、傷だらけ謎だらけの渋いお方と
いうのが私のイメージです。その勘
助が自分!?こんな事「ヤマカン」で
も思いつかない誉です。

「戦国時代の格好がしてみたい! 地
元のお祭りに参加したい!」こんな
気持ちで第35回信玄公祭りの湖衣姫
役を選んでいただいた事が「地元」と
いう素敵な存在を見つめ直すきっ
かけになり、大好きな山梨を盛り上
げられたらと、微々たる事しか出来
ませんが山梨愛を貫いているつもり
です!

大河ドラマ「風林火山」で勘助が
取り上げられていた平成19年当時、
初めて見た撮影現場で目の前に広
る世界に「いつかは自分も大役を...」
と胸がときめいたのを今でも覚えて
います。それが今に繋がっていて、
たくさんの方とのお縁に感謝しかあ
りません。

第50回の節目で、大事な山本勘助
を演じさせていただくという責任と、
故郷である山梨への想いと感謝の気
持ちを込めて、精一杯努めさせてい
たできます。皆さんの前にお目見え
できますことを心から楽しみにして
おります。



【山本勘助役】

白須 慶子さん

Keiko Shirasu

俳優。1985年2月27日生まれ。

山梨県都留市出身。

やまなし大使をはじめ、つる大使やジュエリー大使
などを務め県のイメージアップに貢献。弓道や薙刀
を得意とし、大河ドラマ連続テレビ小説などに多数
出演。

県産農産物のおいしさ新発見！

山梨だからこそ味わえる ジェラート屋さん特集！

山梨で丹精込めて生産されたフルーツや野菜、生乳などを使い、手間をかけて作られたジェラートは、一つ一つが感動的なおいしさ。山梨には作り手のこだわりが感じられるジェラート屋さんがあります。さあ、お気に入りの味を見つけに行ってみよう！

山梨県は、日照時間が長く、昼夜の寒暖差も大きいなど、フルーツの栽培に適した風土に恵まれています。特にブドウ、モモ、スモモの生産量は日本一を誇り「フルーツ王国」と呼ばれています。新しい品種の開発も盛んで、国内だけでなく海外からも注目を集める高品質なフルーツの宝庫。ここ山梨は一年を通じて多彩なフルーツが生産されていますが、夏が終わり出荷の最盛期を過ぎると、少し名残惜しさを感じませんか？

そこでオススメしたいのが、フルーツをはじめとする県産農産物を贅沢に使って作られたジェラートです。

山梨の魅力を再発見！

ハイクオリティ
HIGH QUALITY YAMANASHI
やまなし

ウェブでも山梨の魅力を発信中！

HIGH
QUALITY
YAMANASHI

山梨県の様々な
魅力をお届けする
県公式のブランド情報
発信サイトです



スーパーの店頭にはほとんど並ばないような希少な品種や、採れたて新鮮なフルーツをジェラートとして楽しめるのも、農家さんとのつながりを大事にしている山梨のジェラート屋さんだからこそ。「このフルーツも山梨で作っていたんだね!」と驚くようなおいしい出会いもきっとあると思います。

どのお店も厳選した県産農産物の素材そのものの味を大切にしながら、こだわりと創意工夫で作っています。食べればきっと笑顔になれる、山梨ならではのおいしさをジェラートで発見してみませんか？

笑顔あふれる、地域の人気店！

氷華 (ひょうか)

「山梨の本物のフルーツのおいしさを召し上がっていただきたい」という思いで作られるジェラートは、どれも素材そのもののおいしさを味わえる逸品。1番おいしい時期に合わせて提供するために、店主自ら農家に足を運んで四季折々の素材を吟味しています。長年、県内の生産者さんと親交があるからこそバリエーション豊富で、例えば「アジロン」のような今では希少なブドウのジェラートが登場する時期もあるので、品種ごとの香りや味わいの違いを食べ比べてみるのも楽しみ。氷華は、「こんにちは!」とお客さんが入ってくるほど地域で愛される存在。「子どもの笑顔を見るのが1番の楽しみですね」と語る店主とスタッフのあたたかな人柄も魅力のお店です。



店主の
中西 光茂さん

甲府市小瀬町68-11 ☎ 055-243-9990
○営業時間／10:00～18:00
○定休日／火・水曜日(11月～2月:月・火・水・木曜日)

絶品!甲州「生」ジェラート

イルクルソーレ

イルクルソーレの名前は、イタリア語で「伝達者」を意味します。そこには山梨のおいしい食材の魅力を、ジェラートという形で全国に広げていきたいという思いが込められています。イタリア料理店の総料理長を務めるシェフが考案した本場イタリア伝統のジェラートは、山梨の上質な食材のおいしさを存分に引き出した濃厚な味わいと、滑らかな食感が魅力。モモやブドウをはじめとする県産フルーツは農家さんから直接仕入れ、加熱処理や冷凍をせずに「生」のまま贅沢に使っています。ミルクも八ヶ岳山麓の牧場から朝搾りたてのものを仕入れ「生乳」のまま使用。一年を通じて素材が持つ本来のおいしさが味わえるイルクルソーレの生ジェラートで、山梨の味覚を堪能してみませんか？



スタッフの
渡邊 南海さん

甲府市朝日2丁目17-12 ☎ 055-209-2104

○営業時間／平日12:00~18:00 土日祝11:00~18:00

○定休日／不定休

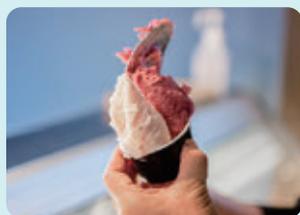


※天候などにより営業時間が急遽変更になる場合がありますのでSNS・WEBをチェックしてください。

山梨の旬と鮮をジェラートで!

シャナドウ

「ジェラートの味は素材で決まる!ジェラート作りは、会得というより体得です」と語る店主は、砂糖などの甘味だけでも素材に合わせて20種類を使い分けるまさにジェラート職人。山梨県産の厳選した素材を使い、一つ一つ手作りするジェラートは、フルーツ自体のおいしさを、より一層深く味わえる絶品。ふるさと甲州市の風景をイメージし「桃源郷」の意味を持つ「シャナドウ」を屋号にした店主の思いが伝わる、華やかで風味豊かな味わいは、オリジナルブレンドのコーヒーや、山梨県産の和紅茶との相性も◎。秋にはサツマイモのジェラートが登場するなど、素材から季節を感じられるのも魅力。ワンちゃん用のジェラートもあるので、愛犬と一緒に楽しむのもオススメです。



店主の
関 裕樹さん

甲府市川田町933-30 ☎ 055-267-6032

○営業時間／11:00~18:30(10月~3月は、~17:30)

○定休日／水曜日





TGCフェス山梨2023 昨年到现在き2度目の開催

史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション（TGC）」がプロデュースする「TGCフェス山梨2023」を10月21日に富士河口湖町で開催します。

このイベントは、県内外の若い女性に本県の魅力を発信しようと、TGCの「地方創生プロジェクト」として、県と共催で開催するもので、本県では昨年到现在き2度目の開催です。

「テーマは宝箱？」

今回のテーマは「Treasure Box crossover」。

富士山をはじめとする豊かな自然やフルーツ、ワイン、宝飾、織物など、

山梨という宝箱からあふれ出す魅力が現代の「トレンド」と出会い、それぞれ境界を越え交じり合うことで、新たな魅力に進化させることを目指しています。

今回もメインエリアとなる河口湖ステラシアターではファッションショーやアーティストのライブを、グリーンエリアとなる河口湖総合公園では、大自然の中で山梨の魅力を満喫できるよう、特設ステージやパブリックビューイングをはじめ、山梨の食やワインなどを楽しむことができます。

「ゲストモデルが続々決定」

ショーには県内在住の動画クリエイターMINAMIさんのほか、トラウデン直美さん、景井ひなさんなど、TGCで人気の豪華主演者が登場



グリーンエリアでは食も楽しめる

環境に配慮し開催

する予定です。また、アーティストライブでは、メインアーティストをヒップホップユニット「DOBERMAN INFINITY」が務め、スペシャルコラボレーションとして、県立甲府西高等学校ダンス部の皆さんがバックダンサーで出演することが決定しました。



県立甲府西高等学校ダンス部のメンバー

今回のイベントでは「やまなし県有林オフセット・クレジット（J・VER）」を活用し、排出される温室効果ガスを県有林が吸収した二酸化炭素で埋め合わせる取り組みを実施します。J・VERの購入金は、本県

魅力発信や経済効果に期待

の豊かな自然環境の保全や、生物多様性に配慮した持続可能な森林経営に活用されます。開催に先立ち、7月18日に行われた記者発表会にはトラウデン直美さんが登場。自身も環境問題に積極的に取り組んでいることから「とても素晴らしい取り組み。今回はTGCに参加するだけで脱炭素の取り組みに携われるので、期待しています」と語りました。



記者発表をする長崎知事、トラウデン直美さん、TGCの企画／制作会社[W TOKYO]の青木充取締役COO(左から)

昨年10月に開催した「TGCフェス山梨2022」では、会場には県内外から延べ5750人ほどが詰めかけ、オンラインでは延べ約54万



昨年は多くの観客がショーを楽しんだ ©TGC FES YAMANASHI 2022

5000人が視聴。総体感人数は延べ55万人以上、経済波及効果は9億6100万円を記録しました。ショーの中で山梨のジュエリーや織物などを身に付けてもらうことで、県内外の若い世代に地場産業などの魅力を発信しました。今年ではファッションショーやアーティストライブに加え、紅葉真っ盛りの自然の中で山梨ならではの「美酒美食」を堪能できるアウトドアフェスも併せて実施し、コンテンツもさらに拡充します。県内外の若い世代に山梨の魅力を伝え、本県を訪れてもらうきっかけになるよう取り組んでいきます。多くの方のご参加をお待ちしています。

TGC フェス 山梨 2023 開催概要

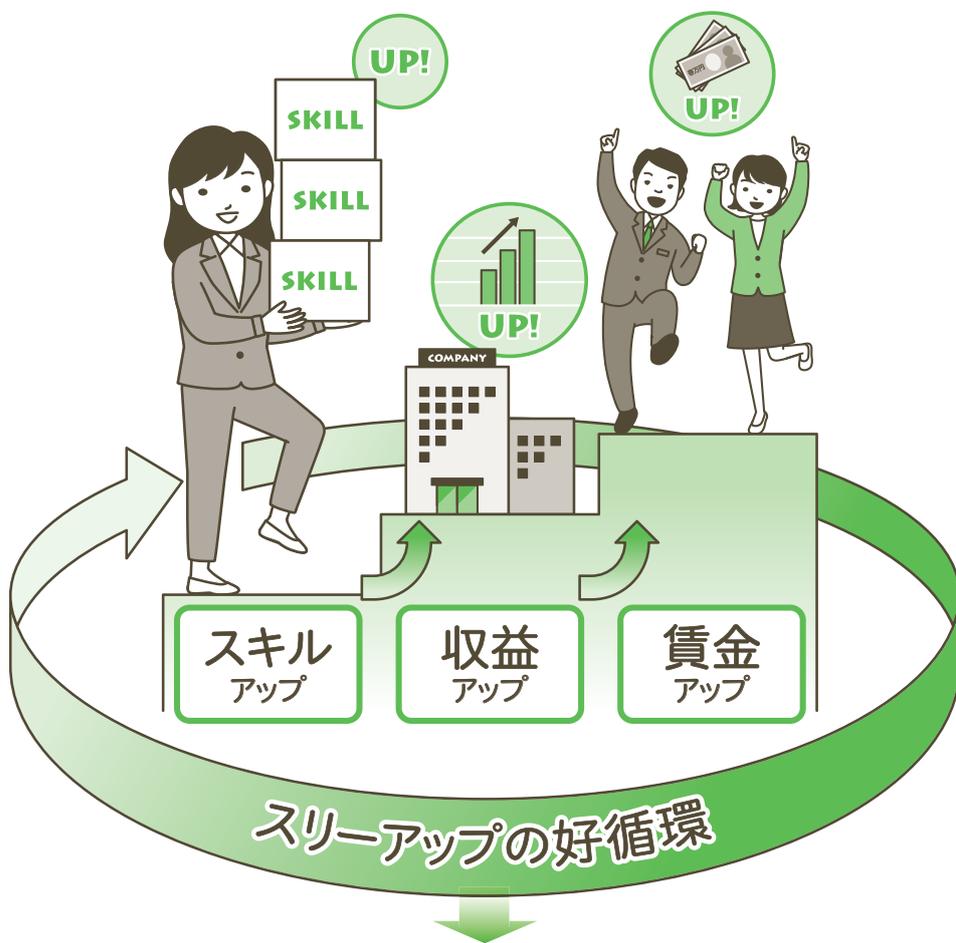
日時	令和5年10月21日(土)午前10時30分～午後5時(予定)	
場所	【メインエリア】 河口湖ステラシアター	【グリーンエリア】 河口湖総合公園
料金	一般	【1階指定席】 3,500円(税込)
		【2階指定席】 2,500円(税込)
チケット販売	一般販売:9月16日(土)午前10時～	



会場となる河口湖ステラシアター ©TGC FES YAMANASHI 2022

TGC フェス山梨 2023の
詳細はこちらから





豊かさ共創社会の実現

～賃金向上を目指して～

「キャリアアップ・ユニバーシティ(学びの場)」の構築が始まっているらしい？

最近、豊かさ共創社会という言葉が耳にすることがあります。「豊かさ共創社会」とは、全ての県民が互いに価値と豊かさを育みあい、分かち合える社会のことだそうです。そうした社会を実現するための大きなプロジェクトとして、県が取り組み始めたのがキャリアアップ・ユニバーシティ(CUU)の構築だそうです。

県は、働き手がスキルアップすることにより、企業の収益がアップし、それに伴って働き手の賃金もアップするという「スリーアップ」の好循環を目指しています。

働き手の賃金アップにつながる取り組みが始まっていると聞きました。

😊 はい、働き手のスキルアップにより、企業の収益アップ、働き手の賃金アップにつながる「スリーアップ」の好循環を目指しています。

そのためにどんなことをしていくんですか？

😊 企業で働く人や求職者を対象に、スキルアップを支援するため、さまざまな講座を集約した専用サイトを作っています。

働き手のスキルアップがスリーアップの第一歩なんですね！

わたしがレポートを作成しました！



山梨大学 工学部 メカトロニクス工学科
2年 磯野 阿比さん



若い皆さんが将来に夢を持ち、山梨で働きたいと思える、豊かさ共創社会の実現につながる環境の整備を進めていきます。

山梨のために貢献したいと思っている若者も多いので、県内で働くことに希望が持てるような改革を期待しています！

私が説明させていただきました！



労政人材育成課
課長補佐 田邊 英理子さん

県では「豊かさ共創社会」の実現を目指して、「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ構想」を策定しました。企業の人材育成をサポートすることで、働き手のスキルアップによる生産性向上、企業の収益向上、賃金向上という好循環の実現を目指しています。

「スリーアップ」とは？

CHECK!

スキル・収益・賃金の3つのアップを目指す取り組みなので「スリーアップ」と名付けました。

県では、スリーアップの理念に賛同した企業で構成する「豊かさ共創スリーアップ推進協議会」を設立し、気運の醸成や参画企業の増加に取り組んでいきます。

CUUはスリーアップの中の、スキルアップを担う「学びの拠点」です。スキルアップに役立つさまざまな講座情報を集め、働き手が自分に合った講座を検索できる専用のサイトをこれから構築していく予定だそうです。さまざまな業種の方に各々のスキルを磨ける講座を用意し、そこで異業種間交流が生まれることも期待されています。CUUに参加できるのは、スリーアップの理念に賛同した企業の従業員もしくはこれから賛同企業への就職を目指している方です。講座の受講者に対しては修了証を交付し、いずれは自分の学びの履歴が分かるような仕組みにしたいそうです。

技術を磨くような講座だけでなく、職場の意識をアップデートするような人間力を養える講座も開設していくそうなのでとても興味深いです。今、世の中は人との関係性が希薄になっていると思うので、講座を通じていろいろな人と出会い、つながりが生まれるところも有意義だと感じました。就職先を考える際に、スリーアップの理念に賛同している企業かどうかをチェックしてみるのもいいかもしれません。

私自身、大学までで勉強を終わらせていいのか？と感じていたので、就職後も自分のスキルを磨いていける環境整備が山梨で進んでいることが分かり、将来への希望が湧いてきました！「スリーアップ」がさまざまな業界に浸透し、働き手も企業もWin-Winとなれる社会になっていくことを期待しながら、今後注目していきます。

「町の当たり前」もユニークな 「ハレとケ」に 危機に瀕する祭りの 口伝を次世代に残したい

言い伝えとなっている地域の歴史や無形文化を図書館が主体となり保存する「山梨ふるさと記憶遺産プロジェクト」。その背景や現状について、やまなし in depth からダイジェスト版でお届けします。

消えゆく歴史と文化を残そうと、山

梨県は「山梨ふるさと記憶遺産プロジェクト」を始め、2023年3月、2つ

の冊子が出来上がった。その一つ、市

川三郷町のテーマは「祭り」。



表門神社の御幸祭で神輿が渡河する「芦川の川渡り」

いつも、そこにある日常」に光が当たるまでのストーリーを追った。

…消えゆく語り部

山梨県の各地域には無名の先人たちが数多の困難を乗り越えて築きあげてきたストーリーがある。しかし、少子高齢化が進みコロナ禍による社会の変化が進む中、語り部は次第に姿を消し、口伝は歴史の中に埋もれてゆく。

このままでいいのか……。2021年6月定例県議会で話題になった。

宮本秀憲 県議 オンライン化が進み、図書館に行かなくてもスマホでさまざまな情報を入手できる時代になった。しかし、言い伝えとなっている地域独自の歴史、無形文化など（は形にして残さなければ途絶えてしまう。これら）を地域の図書館が主体となって保存すべきではないか。その図書館を訪ねなければ知り得ないことがあれば、地域の図書館の付加価値を高めることにはならないか。

長崎知事 県内各地に伝わる記憶を後世に引き継ぐことは極めて重要だ。地

域固有の文化と歴史を記録・発信・継承する拠点の機能を地域図書館が担うということは、十分に検討に値する。

さらに知事は答弁を続けた。

「継承されるべき地域の文化と歴史は、正史としての郷土史にとどまらず、地域の多様な方々の体験やストーリーといった、ふるさとの記憶」を収集したものであればと考える」

この知事答弁をきっかけに、「山梨ふるさと記憶遺産プロジェクト」が2022年に始まった。目的は「県内各地の歴史や文化、人々の体験、先人たちの記憶や物語などを記録・収集し、保存し活用していくため」だ。



記憶遺産プロジェクトを手がける生涯学習課のメンバー。左から、伊藤伸二課長補佐、辻由樹主幹、佐久間絵梨技師

プロジェクトを進めるため、生涯学習課は2022年の2月、県内市町村に向けてプロジェクトを説明し、「記憶遺産」への協力を求めた。すぐに市川三郷町が名乗り出て、プロジェクトは順調に始まるかに見えたのだが――。

…「祭りはどうでしょうか？」

2022年8月、市川三郷町生涯学習センターの会議室で、県庁職員と町職員ら8人の男女が頭を抱えていた。

記憶遺産プロジェクトで扱うべきテーマがどうにもしっくりこないからだった。というのも、当初町から出されたアイデアは、伝統産業の花火、印鑑、大塚人參。

どの案も産業に傾きがちで、知事が言う「地域の多様な方々の体験やストーリー」といった、ふるさとの記憶」と言えるだろうか……。

口数が少なくなつた会議室で、生涯学習課の課長補佐である伊藤伸二さんが発言した。

「祭りはどうでしょうか？」

地元の旧市川大門町出身の伊藤さんはさらに続けた。

「市川三郷町にはたくさんさんの祭りがあります。それこそ口伝でしか残っていないものもあります。地元の人たちは知っていても、多くの県民は知らないのではないのでしょうか」

祭りの中にはコロナ禍で中止になり、そのまま途絶えてしまっているものも

あった。だから、いま「記憶遺産」として取り上げるのは、タイミングとしても悪くない。だが、市川三郷町立図書館の小林可苗さんは「自分の一存では決められない」と答えて、いったん町に持ち帰って検討することになった。

●●● 祭りが続く日常「ハレとケ」が一体となった市川三郷町

伝統産業に恵まれた市川三郷町は、年間を通じて極めて多くの祭りが催される全国的にも珍しい地域でもあった。

民俗学者の柳田國男は日本人の伝統的な世界観として「ハレとケ」の概念を唱えた。非日常的な祭りや儀礼、年中行事が「ハレ」で、日常の普段の生活が「ケ」。「晴れ着」はまさしく「ハレの日」のための衣装のことをいう。

そんな「ハレ」の祭りが市川三郷町では日常に溶け込んでいる。この町では、年間100日もの多様な祭りがあるといふ。年間365日、粗い計算で3・5日に1回は開かれ、週に2回はどこかで祭りがある。これだけ多くの祭りがあると、ハレとケの境界はあいまいになってくる。

●●● 「祭り」に決定、取材を開始

「町の当たり前」や「町民の記憶の中だけにある祭り」を取り上げることに町立図書館の小林さんらは一抹の不安を抱いていたが、「祭りの記録を文字として残すことは、今後しなければなら



「記憶遺産」の冊子をする市川三郷町立図書館の小林可苗さん

ないこと」（小林さん）と賛同した。こうして、テーマは「祭り」に決まった。しかし、多くの祭りがあつて全てを取材することは現実的に難しい。どの祭りを本に書くか、誰に話を聞くべきか、は小林さんに託された。

「町の人の協力を得て、取材対象者を選びました。取材は11月の1日から11月の8日の間に短期間で行いました。1人ずつ聞いた方もいれば、3人集めて座談会というような形をとったときもあります。座談会形式だと、参加者の話と呼び水になってより幅広い話を聞けるのではないかと考えました」（小林さん）

取材を続ける中、すでに中止となっていた祭りもあった。また、言い伝え

でしかなかった多くのことを発掘し、文字に記すことができた。

●●● 地域の先人たちが伝えてきた物語を残していきたい

小林さんが収集した「記憶遺産」は町立図書館に収蔵されている。消えようとしていた祭りは、形を変えて後世に伝えられることになった。

旧市川大門町出身の伊藤さんは故郷に想いを寄せた。

「高校まで過ごした私の故郷をあらためて訪ねてみると、にぎやかだった街並みはだいぶ寂しくなっていました。今回の『記憶遺産』のプロジェクトで取り上げた祭りを契機に、再び故郷が元気になってほしいと思いました」

小林さんも今回のプロジェクトを通じて、新たな気づきがあったという。「町の人が当たり前と思っていることでも、異なる視点から見ると当たり前ではないということを学びました。市川三郷町には後世に残すべき文化や遺産がまだまだたくさんあるのではないかと思います」

●●● 教育や観光にも記憶遺産を活用

この記憶遺産プロジェクトは、今年度も続く。

出来上がった冊子は、その地域の図書館に収蔵され、「文化と歴史の記録・発信・継承の拠点」となる。司書でもある県生涯学習課の佐久間絵梨さんは

プロジェクトの今後について、こう語る。

「図書館にはいろいろな機能がありますが、地元の郷土資料を保存して活用してもらおうようにすることも大事な機能です。その図書館に行かなければ見られない冊子を作ること、図書館の魅力を高め、教育や観光にも活用していきたいと考えています」



冊子は2冊ともA4判、32ページ。「山梨ふるさと記憶遺産 甲州市」は甲州市立図書館と山梨県立図書館に、「山梨ふるさと記憶遺産 市川三郷町」は市川三郷町立図書館と山梨県立図書館に所蔵されています。

やまなし in depth
フルバージョンはこちらから





NEWS 介護待機者ゼロ社会に向けて「介護福祉総合支援センター」を開所

県は「介護事業所」と「家族介護者」への支援を一体的に行う拠点として、県福祉プラザ(甲府市)内に「介護福祉総合支援センター」を設置し、7月に開所式を行いました。

同センターは、福祉や介護に関する仕事の紹介・相談・就職の支援を行う「福祉人材センター」と、介護事業所の業務負担軽減を図るための介護ロボット・情報通信技術(ICT)の導入支援や家庭で介護している家族介護者向けの講座などを行う「介護支援センター」の機能を持ちます。

このセンターが福祉人材の確保・定着を促進する拠点となることで、介護待機者ゼロ社会を実現していきます。



開所式でテープカットをする出席者

NEWS ブラジル ミナス・ジェライス州と姉妹県州締結50周年

ミナス・ジェライス州とは昭和48(1973)年7月に姉妹県州を締結して以来、友好訪問団の相互派遣、教師や技術専門職員の派遣、海外技術研修員の受け入れなどさまざまな交流で友好関係を構築・強化しており、今年、姉妹県州締結50周年を迎えました。

長崎知事は8月に同州で開催された記念式典に出席し、青少年、スポーツ、観光・文化分野での交流に関する覚書を締結しました。覚書では、今後、「ICTを活用した青少年交流」「若年層を中心としたスポーツによる相互交流」「世界遺産などの観光に関する情報交換や文化交流」を推進することとしています。長崎知事は「この締結により、これまで築いた関係をより一層進展させていきたい」と述べ、両県州の友好関係を次世代に引き継いでいくことを確認しました。



式典で握手を交わす同州ロメウ・ゼマ知事と長崎知事

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

NEWS 全国知事会議開催 「山梨宣言」を採択

7月25・26日、全国知事会議が県内で初めて北杜市で開かれ、「地域とともに 子どもの未来 地球の未来」をスローガンに45人の知事が、子ども・子育てにやさしい社会や脱炭素地域の実現、デジタル技術等を活用した地方創生などについて2日間にわたり議論しました。25日、有識者を招いたセッションが行われ、子育てや脱炭素、多様性社会、デジタル化の4つのテーマについて意見を交わしました。最終日には、これらの議論の成果をまとめた「山梨宣言」が採択されました。

宣言には、全国知事会に「子ども・子育て政策推進本部」を立ち上げ、議論の成果を国に届けることで「子どもの未来」を守り育て、やさしい社会を目指すこと、脱炭素社会を実現するため、地方が積極的に先導するとともに企業と共創して取り組みを加速化させること、多様性が尊重される社会の実現に向けた取り組みを進めていくことなどが盛り込まれました。

また、24日はプレイベントとして米倉山電力貯蔵技術研究サイト(甲府市)や中北地域のワイナリー視察、25日の会議では、出席した全ての知事に郡内織物の技術を生かした新しい夏服を着用いただくなど、この会議を通じて本県の施策、観光、産業などを全国に発信しました。



全国知事会議でスピーチする長崎知事



郡内織物の技術を生かした夏服を着用した知事ら

NEWS 「匠の技」で作るフルーツを全国にPR! 知事トップセールス

本県はモモやブドウ、スモモの生産量日本一を誇る「フルーツ王国」です。県と県農畜産物販売強化対策協議会は、県産果実の魅力を全国にPRするため、モモやブドウが旬を迎える時季に合わせてトップセールスを行っています。

今年は7月から8月にかけて、長崎知事や同協議会の中澤会長(JA山梨中央会会長)らが大阪市中央卸売市場(大阪府)と東京都中央卸売市場大田市場(東京都)を訪れ、市場関係者にモモやブドウを配布しました。長崎知事は「胸を張って消費者にお届けできる果実を産地一丸となって生産していく。より多くの消費者に山梨県産の果実を召し上がっていただき、喜んでもらいたい」とあいさつし、県産果実の消費拡大を呼びかけました。

県では今後も、「おいしい未来へ やまなし」をキャッチフレーズに県産農産物などの魅力を積極的にPRし、「やまなしブランド」の確立を目指していきます。



市場でモモを配布する長崎知事

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



商品提供：黒富士農場

アンケートに答えて応募しよう!

次の①～⑤とアンケートにご回答ください。応募は「はがき」または「応募フォーム」でお願いします。
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号

●アンケート

問1: 今号の中で最も関心を持った内容とその理由は?
問2: あなたが考える人口減少を抑える方法は?
※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

●応募先

山梨県広聴広報グループ
「ふれあい読者プレゼント」係
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
[応募フォームはこちら] <https://forms.office.com/r/PSSBrd4JSH>



●締め切り

10月31日(火)(当日消印有効)
賞品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。個人情報は賞品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただきます。

「オーガニックバウム(プレーン・ショコラゼット)」抽選で3名の方に!

「おいしい未来へ やまなし」については、
県ホームページをご覧ください。

おいしい未来へ やまなし



多言語翻訳や音声読み上げに対応したデジタルブック

カタログポケット



「ふれあい」の誌面をパソコン、スマートフォン、タブレットでそのままご覧いただけます。

《FUREAI》杂志的电子版可以在智能手机或者平板电脑客户端浏览。

〈中国語・簡〉

You can now read pages from Fureai directly on your smartphone, tablet, and other devices. 〈英語〉

スマートフォンで「ふれあい」をもっと身近に

スマートフォン専用サイト



「ふれあい」の誌面をスマートフォン専用のウェブサイトでもご覧いただけます。言語切り替えが可能で、ページが縦と横にスクロール表示されるので、スマートフォンで読みやすくなっています。



県政情報発信中!

県ホームページ	やまなし in depth	ハイクオリティやまなし	LINE	Facebook	X (旧Twitter)	YouTube	広報番組

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

